

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	草津市立発達支援センター		
○保護者評価実施期間	R6年12月2日 ～ R7年3月21日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	R7年3月13日 ～ R7年3月24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広く清潔で活動しやすい環境があり、遊具が充実していること	こまめに清掃を行い、刺激の少ない落ち着いた環境設定にしている。また、子どもの姿に合わせ、遊戯室の遊具や保育室の玩具の設定を行うようにしている。	施設の利用者の低年齢化に伴い、通所児童に合わせて椅子や机の高さや環境設定を随時見直す。
2	経験値の高い職員が多く在籍し、OTやSTなどの専門スタッフも充実している	各家庭年間で3回以上クラス担任と個別懇談の機会を作っている。またSTやOT、PTなどの専門スタッフによる個別の懇談やクラス単位での懇談会など、保護者のニーズに合わせて機会を作っている。	専門相談の前にはアンケート用紙を配布し、保護者のニーズをより詳細に聞き取り懇談内容に取り入れる。事後にも感想やもう少し聞きたかったことなどを聞きとり、保護者支援と共に子ども理解を深めていく。
3	地域全体の保育・療育の質の向上へつなげる事業を行っている	地域の事業所との連絡会を複数回行い、研修や情報交換の機会を作っている。また市内の保育所・園やこども園、幼稚園の加配担当保育者を中心とした研修・交流会をの機会を作っている。	情報交換できる機会が欲しいという声が上がっているため、引き続き共通のテーマを選定しながら企画・運営していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアルや緊急対応マニュアル等の保護者への周知が不十分	訓練は随時行っているが、対応マニュアルについて保護者へ説明できていなかった。	園内で作っているマニュアルの一部をHPで公表し、周知を図る。
2	保育所・こども園など地域の中で他のこどもと活動する場がない	公立の保育所やこども園を中心に交流を打診しているが、通所児童が低年齢化していることや、相手側の対象クラスの受け入れ体制が整っていないことを理由に実現していない。	散歩で路線バスを利用したり近くの公園に行ったりするなど、公共の施設や交通機関を利用する機会を作り、地域とのつながりや意識を向けられるような療育内容を検討する。
3			